

みなみん

学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」

令和4年2月12日
練馬区立南田中小学校
みなみん学級だより
NO.38



今回は、みなみん学級の研究発表会・講演会と研究授業の様子をお伝えさせていただきます。

☆みなみん学級 研究発表会・講演会☆

2月4日（金）、みなみん学級による研究発表会と、藤田誠先生、北沢健先生によるご講演が行われました。みなみん学級では、今年度「自己肯定感を高め、主体的に行動できる児童の育成」のために、「キャリア教育の視点を取り入れた授業の充実」について研究してきました。二人の講師の先生方からも、「特別支援教育におけるキャリア教育の実際」や「キャリア教育を生かせる社会」という演題で、キャリア教育に関連した内容についてのご講演いただきました。将来を見通した上での、小学校段階で身に付けていく力について学びました。

☆国語科☆

国語中村グループは、『お手紙』の音読劇をして、お話を楽しもう」という単元で、登場人物の気持ちを考えて音読をするという授業を行いました。

授業の初めに音読のめあてを「学びボード」（めあて表）から選びました。自分の決めためあてに沿って音読ができたかどうかは、タブレット端末に録画した自分の姿で確認しました。「できていた。」と、どの子ども達成できたことに喜びを感じ、達成シールを貼りました。最後に即興で劇をしてみると、自分で考えた身振りを付けたりして、これからの音読劇に意欲と期待を感じました。多くの先生方に見守られる中で、自分の意見もしっかりと伝えることができました。

☆総合的な学習の時間☆

国語斎藤グループは、「地震から命を守ろう」という単元で、通学路で地震が起きたとき、どのようなところが危険（安全）な場所になるのかということを考える授業を行いました。

「運命の分かれ道」ゲームでは、「ピンケースが倒れてくるかもしれない。」
「山が崩れるかもしれない。」などと、発言しました。また、「電柱は倒れるかもしれないから、危険です。」「公園は避難場所になっているので、安全です。」など、通学路における危険（安全）な場所について、理由を述べて説明することができました。

地震や防災について、一生懸命考えている児童の姿に、たくさんの先生方からお褒めの言葉をいただきました。

☆学級活動☆

国語井上グループは、「できるようになったことを発表しよう。」という内容で、1年間を振り返って自分の成長を実感し、それを他者に向けて発表する、という題材を設定しました。

当日は、自分が発表するときの「発表方法」と「発表するときのめあて」を決める授業でした。発表方法やめあてが決めやすいように、学校や家庭でできるようになったことを撮影した映像や写真を通して、自分の姿を客観的に見るようにしました。みんなニコニコしながら自分の姿を見て、「鍵盤ハーモニカを吹いてみる。」「なわとびを跳んでみる。」と発表に意欲を示していました。

☆生活単元学習☆

国語天水グループは、「1年間にありがとう」という単元で、お世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、どうすればいいかを考えるという内容の授業を行いました。

今年1年間を振り返り、自分たちを支えてくれた人は誰だろう、ということを書いた写真をヒントに考えました。「お父さん」や「お母さん」という発言だけでなく、周りの先生の名前も言うことができました。

後半は、自分たちで考えた感謝の伝え方について、実際に準備をすすめました。いつも以上に活動に集中して取り組む姿を校内の先生方に見てもらいました。授業の振り返りでは「明日もがんばる!」という元気な声で締めくくることができました。

☆特別の教科 道徳☆

国語五影グループは、「おでこのあせ」という教材で、働くよさについて考えました。

教材を通して働くことのよさを考えた後、自分が行っている係の仕事や学校の掃除、家でのお手伝いなどの様子を写真で振り返りました。その後、教師や友達からの「ありがとう」の動画を見たり、保護者の方からいただいた、「ありがとう」のメッセージカードをみんなに渡したりしました。

先生、友達、家族からのメッセージに、子供たちも大喜び! 学習の最後には、「もっと働きたい!」「靴並べ頑張るぞ!」など、働くよさに気付いてみんなのために働こうという気持ちを高めることができました。

